

2022年度政策評価結果(2021年度実施分) に対する意見集

本意見集は、豊中市総合計画審議会の審議過程において各委員から出された意見を取りまとめたものです。

今後、政策評価の運用にあたっては、本意見集及び添付している各部会の議事要旨をご活用いただくことをお願いするものであります。

令和4年(2022年)12月20日

豊中市総合計画審議会
会長 加藤 晃規

2022年度政策評価結果(2021年度実施分)に対する意見

当審議会では、2022年度政策評価結果(2021年度実施分)において、第三者の立場から、政策評価が事実に基づいて正しく評価されているか、PDCAサイクルがまわるような書き方になっているか、市民が読んだときにわかりやすくなっているかの視点から審議を行い、意見として取りまとめましたので、報告します。

1	<p>【評価シート全体を通して】</p> <p>昨年度に比べて全体的にA評価が増えている点は評価できる。しかしながら、A評価のシートも含め、全体的に「〇〇しました」など取組みの記述で終わっており、取り組んだ結果、地域社会に与えた成果(インパクト、アウトカム)の記述がないシートが散見されるので、取組みの結果どのような成果あったかを意識して記述されたい。</p>
2	<p>【評価シートの書き方について】</p> <p>政策評価は行政の取組みの成果をアピールする役割もあることから、先進的な取組みは積極的にアピールしてほしい。例年続けている取組みであったとしても継続実施することでの成果を記述することを検討されたい。</p>
3	<p>【評価シートの書き方について】</p> <p>取組みの成果の考え方として、コロナ禍で様々な指標の数値が低下する状況下で、想定されたシナリオに沿って、数字が伸びている、もしくは伸びないまでも横ばいになっていることは、実質、上向きのトレンドであると読み取れるので、市の取組みが成果を上げていると捉えてもいいのではないかと。</p>
4	<p>【評価シートの書き方について】</p> <p>「分野別の計画に基づく取組みを進める」といった表現は、その計画の内容を把握していない人にとってはわかりづらいので、計画における要点を明記されたい。</p>

5	<p>【問題点・今後想定される事項と今後の方針】</p> <p>問題点・今後想定される事項に対して、今後の方針の内容が一致していない、あるいは対応していないシートが見受けられる。問題点・今後想定される事項と今後の方針が対応するように記述されたい。</p>
6	<p>【問題点・今後想定される事項】</p> <p>施策の方向性シートの「問題点・今後想定される事項」について、区別して記述する必要がある。</p> <p>「問題点」は、当該年度取り組んだ結果残されたものである。「今後想定される事項」は単年度の取り組みはきちんと達成できているが、今後の社会の変化や想定される事項として対応が必要になると見込まれることである。</p>
7	<p>【施策シートと施策の方向性シートの役割について】</p> <p>施策シートは、「総合評価の理由」につながる特記事項を抜き出すようにすべきである。施策の方向性シートに書いている内容すべてを施策シートに書く必要はない。それぞれのシートの書き分けを意識されたい。</p>
8	<p>【A, B, C の評価方法について】</p> <p>A, B, C の評価をつけるにあたっては、それぞれの評価の理由がわかるように記述されたい。</p>
9	<p>【指標について】</p> <p>毎年評価するのであれば、毎年把握できる指標を使うことが望ましい。次年度以降の評価をするときに検討してほしい。</p>
10	<p>【用語集について】</p> <p>冊子の最後に用語集がついているが、シートの中ではどの語句に用語解説がついているかがわからない。用語解説がある語句がわかるよう工夫されたい。</p>
11	<p>【リーディングプロジェクトについて】</p> <p>リーディングプロジェクトは、庄内さくら学園と庄内コラボセンターを最優先に取り組んできたことは理解できるが、住環境を含め、そのほかの取り組みについても記述してほしい。</p>